

第70回石川県山林大会の開催について

1 日 時 令和7年10月28日(火) 午後1時30分～

2 場 所 石川県立音楽堂 邦楽ホール(金沢市)

3 大会趣旨

県内の林業関係者等の会員が一堂に会し、林業・木材産業の振興と諸課題に対する意識の高揚を図るため大会を開催し、林業功労者等の表彰及び意見発表並びに大会決議などを行います。

また、採択された大会決議については、後日、国・県等に対して提案要望し、施策への反映を求めています。

4 参加者 約350名

5 主 催 石川県山林協会(会長 馳 浩)

6 後 援 石川県、金沢市、石川県森林組合連合会の関係団体

7 内 容

(1) 挨拶

大会長 馳 浩、金沢市長 村山 卓

(2) 表彰

森林整備、治山・林道工事の各コンクール入賞者及び林業功労者等
(別紙名簿のとおり)

(3) 祝 辞

林野庁長官、石川県議会議長等の来賓

(4) 議 事

①経過報告 県山林協会

②意見発表

・アテ林業・能登ヒバを活かした能登の創造的復興支援事業

公益社団法人 石川県木材産業振興協会

能登ヒバコーディネーター 関軒 明宏

・地域産材の安定供給拠点を目指して

金沢森林組合 宮野工場 職員 藍原 伴治郎

③大会決議(案)の採択

8 その他

・森林整備及び治山・林道工事コンクール受賞写真の展示

令和 7 年度 受賞者名簿

○ 第 68 回石川県森林整備コンクール

- ・林野庁長官賞 山岸 大樹郎（金沢市）



氏は所有林（白山市）に隣接した森林も含めた森林経営計画を策定し、森林整備を実施している。主伐については、2.5ha 以下となるよう伐区をモザイク状に設定し、再生林に自らが育苗した苗木を使用するなど、計画的に森林を経営管理している。

- ・石川県知事賞
横山 邦春（金沢市）



集落周辺の広葉樹やスギ林を集約化し、計画的な更新に取り組んでいる。

- ・全国林業改良普及協会長賞
細口 雄喜男（七尾市）



間伐・枝打・主伐・再生林と計画的な施業に努め、ドローン調査などによる作業の効率化も図っている。

- ・石川県山林協会長賞
布橋町林産組合（小松市）



地区内の人工林の成長に合わせ間伐と主伐・再生林を計画的に実施している。

- ・石川県山林協会長賞
大畑 忠治（能登町）



氏自ら保育管理するなど関心は高く、適期に利用間伐を実施している。

○ 治山工事コンクール

※中央協会主催コンクールの受賞結果

・石川県知事賞（※日本治山治水協会会長賞）

株式会社白原組 代表取締役 白原 誠

令和5年度予防治山事業 原地区溪間工事

令和4年8月豪雨により土砂が下流の国道まで流下するなど、荒廃溪流を谷止工により復旧する工事で、施工・品質管理や出来映えが良好であった。

・石川県山林協会会長賞

株式会社沢野組 代表取締役 沢野 哲

令和5年度機能強化・老朽化対策事業

外原地区溪間工事

既設谷止工にひび割れがあり、凍結融解や鉄筋の腐食膨張による劣化が懸念されたことから、上流側に増厚工を施工し、品質管理や出来映えが良好であった。



○ 林道工事コンクール

・石川県知事賞（※農林水産大臣賞）

山崎・みのり特定建設工事共同企業体

代表者 株式会社山崎組

代表取締役社長 山崎 貴文

令和4年度(令和4年発生)林道災害復旧事業

白山線災害復旧工事

令和4年8月豪雨により損壊した白山線は、岐阜県に至る林道で奥に中宮温泉があることから、一般車両の通行を確保するための工程管理などの制約があったが、施工管理や出来映えが良好であった。



・石川県山林協会会長賞

株式会社石川建設 代表取締役 高山 大介

令和5年度(令和5年発生)林道災害復旧事業

大平線災害復旧工事

令和5年7月豪雨により路肩が大きく決壊した。急勾配で軟弱地盤での施工となったが、施工管理や創意工夫により早急に復旧でき、他の模範となった。



○ 林業功労者（石川県山林協会会長表彰）

荻原 明(加賀市)、高林 英一(小松市)、谷本 外茂治(能美市)、尾田 好雄(白山市)、出口 秋一(金沢市)、小谷 正衛(志賀町)、中山 正彦(輪島市)

○ 山林協会功労者（石川県山林協会会長感謝状）

稲村 建男(羽咋市) 理事 18 年、元井 孝司(輪島市) 理事 9 年
矢野 好廣(珠洲市) 理事 9 年